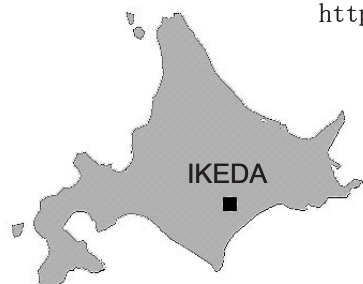


No.49 2011, Apr.

4 月・天地金乃神大祭号

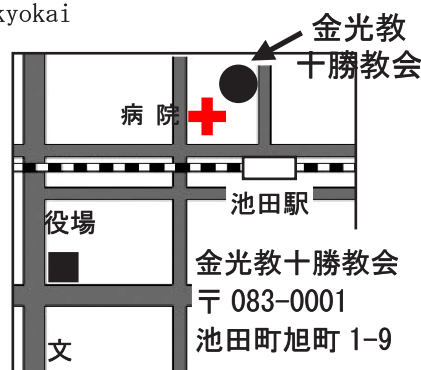
<http://city.hokkai.or.jp/~mtamaki/kyokai>

☎ 015-572-2322
fax 015-572-4213

十勝教会



だより 49



天地金乃神大祭・東日本大震災復興祈願祭を迎えて

金光教十勝教会

「御神伝」(明治六年十月十日)

天地金乃神と申すことは、天地の間に氏子おつておかげを知らず、神仏の宮寺社、氏子の家宅、みな金神の地所、そのわけ知らず、方角日柄ばかり見て無礼いたし、前々の巡り合わせて難を受け。氏子信心いたしておかげ受け。今般、天地乃神より生神金光大神差し向け、願う氏子におかげを授け、理解申して聞かせ、末々まで繁盛いたすこと、氏子ありての神、神ありての氏子、上下立つようにいたし候。

金光教は右記の「御神伝」で示されたように、天地金乃神様が難儀な氏子(人間)を助けるために教祖金光大神様を差し向けられたことにはじまりす(はじまりは安政六年)。その中で天地金乃神様曰く、「天地の間に氏子おつておかげを知らず、神仏の宮寺社、氏子の家宅、みな金神の地所、そのわけ知らず、方角日柄ばかり見て無礼いたし、

前々の巡り合わせて難を受け」と人間が抱える様々な難儀の原因が人間自身にあることを諭されています。

つまり、「金神の地所、すなわち天地(地球)の働きの中に生かされている人間」でありながら「人間は自分の都合の良いように勝手に暮らしている」ことがそもそもの難儀の始まりであり、そういう人間相手の振る舞いが代々続いてきたことで、結果として人間が様々な難儀を受けることになり、そういう人間を助けるために教祖金光大神様をお差し向けになったということとです。さらに「願う氏子におかげを授け」とありますが、この「おかげ」とはどういうことでしょうか。一般に「おかげ」という言葉は「御利益」ともとられがちです。「願う氏子におかげを授け」と言われると、神様に何か願い事をすれば御利益を授けられると捉えがちですが、決してそうではありません。「御神伝」では人間の難儀の

原因が「天地の働き中に生きる人間」という立場を忘れて、人間の都合だけで何事もなす」というところにあると言われているわけですから、その難儀から救う、つまりここで言う「おかげ」とは、「天地の働きの中に生きる人間の役割を知る」、「天地金乃神様の働きの中で生きる人間がなすべきことを理解する」ということになります。だから、病気が治る、志望校に合格するということとは少し意味が違います。

信心をすると願いが叶う、御利益があるという事は実際にあります。しかしこれは、あくまでも「人間側の願いが叶う」のであって、多くの場合は人間の都合、個人の都合の良いことが起こったというに過ぎません。それは果たして「神様の願い」つまり「人間の難儀のもとである人間勝手な振る舞いを止めて、天地のなかで暮らす人間としての役割に気付く」ことになっているのでしょうか。

私たちはどうしても「信心」を「困ったときの神頼み」と同じように「何か起きた時の支え」と捉えがちです。しかし、天地金乃神様が教祖生神金光大神様に託された信心は、人間が抱える「難儀の根本」そのものを解決しようとするものです。天地金乃神様の働きの中に生きる人が担う本来の役割を悟り実践していくものです。かつて、矢代礼紀先生は「信心とは、本当の人間になること」と仰ったそうです。まさに、このことを端的に表現されたものといえます。この度の御大祭を機にもう一度信心というものを捉え直し、「本当の人間」になれるよう「本当の信心」を進めていきましよう。

また、三月十一日に東北地方を中心に襲った大震災は史上空前の大惨事となりました。この震災で犠牲になられた方々の霊の立ち行きを御祈念するとともに、被災された方々の生活の立ち行くと、復興の上に御神慮を願う復興祈願祭が本部広前をはじめ全国で伝えられています。十勝教会でも、この度の御大祭に併せて復興祈願祭を仕えさせていただきます。被災された方々、そしてそれを支える人々の心に神様の働きが生まれ、一日も早く安心が得られるように祈らせていただきます。

道東地区教会・関係教会大祭日程

	春	秋	
釧路	5月29日(日)	10月23日(日)	11時
北見	5月 3日(祝)	11月 3日(祝)	11時
帯広	4月24日(日)	11月 6日(日)	11時
網走	4月22日(日)	10月16日(日)	11時
滝上	6月 5日(日)	10月 9日(日)	11時
函館	5月13日(金)	11月13日(日)	13時
夕張	4月29日(祝)	11月 3日(日)	11時

平成23年4月

教会 日誌

平成23年1月1日から4月10日まで

- 1月1日 平成23年元日祭執行（写真は下）。
- 1月3日 士幌町、K家、T家感謝祭。
- 1月3日 池田町、M家、感謝祭。
- 1月5日 薫別講社年頭祭執行（写真は下）。
- 1月8日 帯広市、M家・K家合同感謝祭。
- 1月14日 札幌市、T家、I社、A社、B社合同感謝祭・交通安全祈願祭。
- 1月16日 札幌市、Y家、感謝祭。
- 1月22日 北海道教区信徒会委員総会、札幌教会、信徒会副会長氏出席。23日まで。
- 2月11日 信徒総会・新年会。（写真は次ページ）
- 2月13日 余市町、I家、感謝祭。
- 2月18日 幕別町、K家、感謝祭。
- 3月12日 足寄町、K家、式年祭。
- 3月12日 吉備舞・奏楽練習会、札幌東教会2名参加。



- 元日祭 - 参拝者代表玉串奉奠



- 元日祭 - 平成 23 年元日の教会



- 薫別講社年頭祭 -



- 元日祭 - 教会長玉串奉奠



・写真・信徒総会
信徒会長の挨拶



・写真・新年会
総会後の新年会。メニューは定新年会の鳥タタキ鍋。



・写真・新年会
総会後の新年会。メニューは定新年会の鳥タタキ鍋。



● 今年の道東地区のパークゴルフと研修会は十勝教会が当番になっています（巻末参照）。

総会行事では今年度の信徒会・教会の活動計画（巻末参照）、90年記念祭の事業報告の他、新しい役員人事が了承されました。

3月20日 幕別町、K家、住宅新築奉告・神宮奉

齋式。

3月21日 春季霊祭執行（写真は下）。

3月26日 道東地区教会連合会総会・委員研修会、

阿寒湖温泉、衛先生、信徒会長、副会
長出席。

4月1日 勸学祭執行（写真は次頁）。

4月5日 薫別講社天地金乃神大祭執行（写真は
次頁）。

4月10日 大祭前大掃除・大祭打合せ。

記念祭のご案内

○夕張教会布教八十年記念祭・二代教会長十年祭

・日 時 4月29日（金・祝）11時

・会 場 ホテル・シューパロ（夕張市）

○函館教会布教百二十年記念祭

（参拝を希望される方は教会までお申し出ください）

・日 時 9月13日（火）13時

・会 場 金光教函館教会

写真・春季霊祭

この度霊祭では、3月11日の大震災で被災された方々の立ち行きと、犠牲になられた方々の霊様の立ち行きを祈願させていただきました。





写真、勸学祭



写真、薫別講社大祭



写真、大祭前大掃除
大祭打合せ



十勝教会これからの祭典行事予定

○上 半 期 感 謝 祭	6月26日(日)	13時30分
○教会創立記念祭・布教功労者報徳祭	8月16日(火)	13時30分
○秋 季 霊 祭	9月23日(金・祝)	13時30分
○生神金光大神大祭	11月20日(日)	11時
○薫別講社生神金光大神大祭	12月5日(月)	11時
○越 年 感 謝 祭	12月31日(土)	13時30分
○境内清掃奉仕(雨天中止)		
・第1回 6月12日(日) ・第2回 7月16日(土) 各午前10時		

道東地区教会連合会交流パークゴルフ大会・研修会

毎年、道東地区の教会が持ち回りで開催しているパークゴルフ大会です。今年は十勝教会が当番ですので、みなさん参加およびご協力よろしくお願いいたします。なお、翌日は研修会がございますのでこちらにも是非ご参加下さい。

○道東地区教会連合会・交流パークゴルフ大会

- ・月 日 6月18日(土) 14時
- ・会 場 池田町清見ヶ丘公園パークゴルフ場
- ・終了後懇親会が「まきばの家」で行われます。

○道東地区教会連合会・研修会

- ・月 日 6月19日(日) 9時
- ・会 場 十勝教会
- ・内 容 講師を招いての講話

※詳しいことが決まりましたらあらためてご案内いたします。

道東地区教会連合会家族交流会

家族連れで参加できるファミリーキャンプです。どなたでも参加できます。

- ・月 日 7月23日(土)～24日(日) ・会 場 釧路方面
- ・内 容 キャンプ(懇親会)とレクリエーション

※詳しいことが決まりましたらあらためてご案内いたします。

金光教「あいよかけよの生活運動」 全道集会

「あいよかけよの生活運動」の10年の節目の講演会です。

- ・月 日 7月3日(日) 13時
- ・会 場 ホテル・ノースシティ
- ・入場無料

少年少女キャンプ「みどりのひろば」

毎年夏休みに北海道で行っている金光教のキャンプです。

- ・日 時 8月5日(金)～7日(日)
- ・会 場 キトウシ森林公園(東川町)
- ・内 容 工作、ゲームなど

天地金乃神大祭・震災復興祈願祭次第

金光教十勝教会

先 祭員着席

次 拝 礼

次 神前拝詞奉唱

次 取次唱詞奉唱

次 祭主祭詞奏上

次 祭主玉串奉奠

次 天地書附奉体

次 参拝者代表玉串奉奠

次 神徳賛詞奉唱

次 神人の栄光斉唱

次 拝 礼

次 祭員退下

○ 吉備舞奉納

玉置さくらさん

○○ 御神伝奉読・講師紹介

○○ 教 話

講師 金光教網走教会長

菊川松次郎 先生

あいよかけよの生活運動

願 い

わが心の神に目ざめ

祈り、対話、行動をもって

神を現す生活をすすめ

共に助かる世界を生みだそう



KONKOKYO
金 光 教

♪ 神 人 の 栄 光 ♪

一、
天地は神のふところ
人はみな神のいとし子
かぎりなき神徳のなかに
生かさるるわれ等うれしき

二、
人の世にとわの光を
いとし子につきぬみかげを
誓わしし教祖の神に
救わるるわれ等うれしき

食 前 訓

食物はみな人の命のために
天地乃神のつくり
与え給うものぞ
何を食うにも飲むにも
ありがたく頂く心を忘れなよ

食 後 訓

体の丈夫を願え
体をつくれ
何事も体が元なり